



# いしかわ 労 福 協

第641/642号 2021年7月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会  
 発行責任者 西田 清明  
 編集人 上野 貞彦  
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号  
 電話 (076) 231-1737  
 FAX (076) 231-1731  
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>  
[info@ishikawa-rofukukyo.jp](mailto:info@ishikawa-rofukukyo.jp)  
 毎月1回 25日発行

**“すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、  
 連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくらう”**



開会挨拶する西田清明理事長

## 第60回通常総会を開催



小水議長

石川県労働者福祉協議会は、6月21日(月)フレンドパーク石川において、第60回通常総会を代議員全員(書面決議含む)の出席で開催した。

総会は、コロナ禍につき、小規模でかつ、短時間での開催を旨として来賓やオブザーバー参加も見合わせた形式とし、地域ライフ・サポートセンターへはオンラインにて総会模様を配信して行われた。

今回の総会では、2020年度活動経過報告・決算報告・会計監査報告について承認したほか、任期満了による役員改選についても行われた。

狩山久弥副理事長が開会を宣言し、議長に小水康史代議員を選出して議事が進められた。

西田清明理事長が「新型コロナウイルスは世

界をパンデミックに陥らせ、社会・経済を混乱させている。石川県内も同様であるが、このような厳しい状況となると立場の弱い方に、より一層悪影響を及ぼし、ひとり親世帯や、非正規労働者、大学生などが厳しい生活を強いられている。このような方へ手を差しのべるべく共助の活動を旨とする労福協がフードバンクと共に食糧支援活動などにより、僅かながらでも力を発揮することができたと自負するところです。これらの活動は、『福祉はひとつ』の理念を元に、北陸労働金庫やこくみん共済coop、労働組合の理解と支援があってこそのものであり、引き続きご理解とご協力を求めます。」と挨拶した。

提案した議案は、すべて満場一致での賛成により承認され、最後に、光林邦彦副理事長が閉会を宣言した。

総会後に開催した第2回理事会において、新役員体制を決定し、活動への新たなスタートを切った。

## 新たな役員体制

理事長に西田満明、副理事長に狩山久弥、光林邦彦、専務理事に渡邊雅人を選出した。(再任)  
このほか、新たに理事に黒谷治夫、安村裕之、

福田佳央、徳本喜彰、中澤豊治、新たな監事に供田浩、赤松俊治を選任したほか、長谷川隆史、宮澤裕二、高芳晴、鈴木隆史、宅本門示、窪田正尚が再任した。

## 2021 年度全国研究集会



メイン会場の模様を視聴する参加者

中央労福協は、6月7日(月)福島県福島市のテレサ福島をメイン会場とし、全国の労福協などへのLIVE配信形式により開催した。

石川労福協は、コロナ禍での開催であることからフレンドパーク石川をサテライト会場とし、会場にお越しになれない方は自宅や職場からの参加を呼びかけ、31名が視聴参加した。

集会は、東日本大震災から10年となることから、会場を福島市とし、昨年の研究集会の実践編として「時代に調和する新しい“つながり”のカタチ2021」～ポストコロナ社会に向けて～をテーマに開かれた。

集会は、アナウンサー・朗読家の渡辺祥子氏が、河北新報社が募集した東日本大震災の災害ボランティアへの感謝の心を綴った詩の作品を朗読してスタートした。

パネルディスカッションは、ファシリテーターとしてフリーアナウンサーの大和田新氏、中央労福協事務局長の南部美智代氏が務め、パネリストとして福島県相馬市長・全国市長会会長の立谷秀清氏、地域社会デザイン・ラボ代表の遠藤智栄氏、NPO石巻復興支援ネットワーク代表理事の兼子佳恵氏が参加し、約2時間に渡るディスカッションを行った。

震災、津波、原発事故により、住まいや仕事

などの喪失はもとより、多くの方の命を失い、傷つき、今もなお復興というにはほど遠い状況下にあるが、人と人とのつながり、コミュニティーを充足することで、互いに助け合い、支え合いながら、少しずつ歩を進めてきた10年であった。しかし、まだまだ当時の大きな傷が癒えることはないが、立ち止まることなく今を生きている。自助にも公助にも限界があるが、人とのつながりは生きる力を与え明日に向かえる糧となり、個々人はもとより地域の

復興に通ずる有効かつ重要な取組みであり、これから社会において役立つものだと話し合われた。

そして、10年が経ち、東日本大震災の苦い体験を二度と繰り返すことのないよう、防災・減災への取組みと震災があったことが風化しないよう記録と記憶を語り継いでいかなければならない。

この研究集会の開催に先立ち、本日の参加者を対象として、今回の集会内容をより理解を深める目的で昨年度開催された研究集会の振り返りと岩手県陸前高田において東日本大震災の被災者支援の取組みを行っている(一社)マルゴト陸前高田代表理事の伊藤雅人氏の活動について、6月4日(金)に事前学習会としてフレンドパーク石川において受講した。



事前学習会

## 第 19 回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会実行委員会



労福協ライフ・サポートセンターは、7月16日(金)にフレンドパーク石川において、福祉グラウンド・ゴルフ中央大会第1回実行委員会を開催した。

委員会には、金沢市グラウンド・ゴルフ協会、県障害者スポーツ協会、北陸労働金庫、労福協

ライフ・サポートセンターから、計8名が出席し、本年度の大会開催の是非、実施方法等について協議を重ねた。

昨年は、新型コロナウイルスの感染防止への態勢が整わないことから開催を見送った経過があるが、本年度は緊急事態宣言などの人流規制が無い限り実施する方針を確認した。

また、金沢市グラウンド・ゴルフ協会から、「対策を取りつつ競技を継続しており、これまでに競技参加による感染者は発生していない。エチケットマナーを守らない方は失格とするなどとしているものの、競技愛好者からは特段の問題もなく実施されている。」との実態報告もあり、10月21日(木)の開催に向けて活動を進めることとした。

## フードバンク活動



労福協は、5月27日(木)いしかわフードバンク・ネットより譲り受けたお茶を幼児保育に活躍する「みはる幼稚園」に寄贈させていただきました。同園長先生より「沢山のお茶を頂き感謝します。早速、明日にでも子どもたちに飲ませられるよう提供してまいります。」と感謝の言葉が寄せられました。

## これからの行事予定

(7月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
7月26日	月	労信協 第3回理事会	フレンドパーク石川
27日	火	労福協 第3回理事会	〃
30日	金	こくみん共済coop 石川推進本部第4回代表者会議、 石川勤労者共済生協通常総代会	ANACP金沢
8月6日	金	第2回人事委員会(書面)	—
19日	木	第3回三役会議	労福協応接室
20日	金	第2回自主福祉運動活性化会議	フレンドパーク石川
21日	土	第1回女性のための安心生活相談会	〃
23日	月	労福協 第4回理事会	〃
25日	水	消費者大会第2回実行委員会(Web)	—
27日	金	消費者支援 NW 第3回理事会	長土堀青少年センター
30日	月	中部労福協 第2回幹事会(Web)	—
9月1日	水	いしかわフードバンク・ネット第4回運営委員会	さわやかU

## 北陸労働金庫 第20回通常総会



北陸労働金庫第20回通常総会が6月25日開催された。今回の総会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、北陸労働金庫本店ビルを主会場とし北陸三県19会場をテレビ会議システムで繋ぐ分散形式での開催となった。

冒頭、狩山久弥理事長より、以下の通り挨拶があった。

「ご参加いただきました皆様、会員推進機構、友好団体、退職者会、生涯取引推進機構の皆様には日頃より北陸労働金庫の事業活動に対するご理解とご協力をいただき心より御礼を申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に対する当金庫の取組みとして「勤労者生活支援特別融資制度」の取扱いの他、社会福祉協議会が実施した「緊急小口資金」の取次業務を行ってきました。また、会員推進機構の皆様と協働で会員組合員の生活安定に向け、借換え提案や返済方法見直しの相談活動を強化するとともに、組合員のための「個別面談」を中心に「可処分所得向上」の取り組みを展開し、勤労者に寄り添った活動を行った結果、預金・融資ともに残高増加目標は達成しました。

業績と決算は表面上良い結果となっていますが、日銀はマイナス金利政策を継続していくことを決定していることから、貸出金利息収入の逡減

に歯止めがかからないことが想定され、厳しい状況が続くものと考えざるを得ません。当庫は本年10月に創立20周年の節目を迎えますが、北陸労働金が存続していくために「理事懇談会」を開催し、論議を重ね、経費削減策、増収対策で5つの施策に対する取組みを決定してきました。

これからも組合員の皆様にとって、すべての働く者にとって、安心してご利用できる金融機関であり続けるための改革を実行します。より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。」

続いて、報告事項として「2020年度業務報告」、「2020年度計算書類等報告」、「監査報告」が行われた。2020年度概況報告では、預金は248億50百万円増加し、期末残高は7,923億67百万円に、融資は135億28百万円増加し、期末残高は4,485億5百万円となり、税引き後の当期純利益が4億97百万円となったと報告があった。

続いて、議案審議の「2021年度事業計画」では、重点取組み施策や各計数計画などが提案された。その後、「役員選任」などの議案が提案され、すべての議案が承認された。

最後に、『すべての働く人のため、会員・推進機構や退職者組織等と協働し、「ろうきん運動」の前進に繋げよう』等の総会スローガンが採択され閉会した。

メーデー協賛「第53回写真サロン展」開幕

石川県勤労者文化協会(勤文協)主催の第53回勤労者写真サロン展はコロナ禍ではあるものの6月17日加賀展を皮切りに県下6会場で開催された。金沢展の最終日となる7月25日には表彰式も開催され多くの出品者や来場者が訪れ力作を鑑賞した。



勤文協会長賞  
「夕染め」  
網代 吉孝(高岡市)



北國新聞社長賞  
「夕映え」  
竹田 喜代子(志賀町)



招待奨励賞  
「せーので」  
大川 ひろみ(内灘町)



金沢市長賞  
「静寂」  
舟野 喜代子(金沢市)



七尾市長賞  
「トトロ」  
干場 茂臣(志賀町)



小松市長賞  
「早わざ」  
橋本 良信(金沢市)



輪島市長賞  
「ファミリー」  
坂本 茂吉(津幡町)



加賀市長賞  
「称名滝」  
山崎 修(津幡町)



白山市長賞  
「蓮栄える」  
宇野 藤夫(金沢市)



能美市長賞  
「渚」  
塚本 松男(金沢市)



## クヌギ林草刈りボランティア



さわやかUが実施する「クヌギ林草刈りボランティア」に7月8日(木)～9日(金)にかけて参加した。

珠洲市内唐笠山にある菊炭の原料となるクヌギ林の育成を助けるための下草刈りで、NPO法人奥能登日置らいの糸谷代表とともに作業を進めた。

作業は、暑い時期であったが糸谷代表を含めた8名が、草刈りに勤しんだ。

参加者のほとんどが、このボランティアの参加経験者で、慣れた手つきで草刈り機を操ることで、作業が捗り予定範囲を超える林地の下草がきれいに刈り倒された。

作業では、十分な水分補給と休憩を取り今回のボランティアを終えた。



## 勤 体 協

### 《第54回 県勤労者夏季バスケットボール大会》

7月4日・金沢市額谷ふれあい体育館

男子1組

- ① YAKAMORI ② SMOKERS
- ③ キムチーズ

### 《第92回 メーカー協賛、 第9回勤労者パークゴルフ大会》

7月11日・木場方公園中央園地特設パークゴルフ場

男子シルバー

- ① 坂本陽一郎(白山市) ② 中田秀邦(能美市)
- ③ 吉野元務(志賀町)

男子ゴールド

- ① 川崎博通(小松市) ② 新家千明(加賀市)
- ③ 林 勝利(小松市)

### 《第54回 県勤労者夏季バスケットボール大会》

7月18日・白山市美川体育館

男子2組

- ① RAVE ② 28DSaB ③ ELEMENT

### 《バスケットボール大会》

7月19日・金沢市営中央市民体育館

男子1組

- ① 穴水クラブ ② キムチーズ ③ T家